

## 会議録（要旨）

(1) 会議の名称	令和3年度第1回南越清掃組合廃棄物減量等推進審議会
(2) 開催日時	令和4年3月17日（木曜日）午後2時～午後3時
(3) 開催場所	南越清掃組合 エコクリーンセンター南越 大会議室
(4) 出席者氏名	奥村充司会長、佐藤秀雄副会長、能勢淳一郎委員、辻本悦男委員、佐藤かよ子、上木由紀江委員、橋本英一委員、西野憲央委員、西脇秀和委員、見延英樹委員、津田勝秀委員、中村勝典委員
(5) 欠席者氏名	山口証明委員
(6) 事務局職員職氏名	南越清掃組合 三田村管理事務所長、清水副所長兼第1清掃課長、大友総務課長、山田第2清掃課長、小谷総務課副課長、渡辺第2清掃課副課長、赤星主幹、大久保主査
(7) 会議議題	(1) 協議事項 令和4年度ごみ処理実施計画について (2) 報告事項 プラスチック資源循環促進法について (3) その他
(8) 傍聴者の数	0人
(9) 会議資料の名称	資料1 令和4年度ごみ処理実施計画について 資料2 プラスチック資源循環促進法について
(10) 会議の内容の要旨	<p>1 開会</p> <p>2 所長あいさつ</p> <p>3 協議事項 令和4年度ごみ処理実施計画について</p> <p>・質問・要望</p> <p>プラスチックごみについて</p> <p>新しい施設になって、燃やせるごみが増えて、プラスチック製容器包装が減っているとの説明があった。</p> <p>消費者は、プラスチックごみがどのように再利用されているか分からない。燃やせるごみに出しても、ピンク色のごみ袋（プラスチック製容器包装）に出しても同じなら、楽な燃やせるごみを選んでしまう。ごみを分別して下さいと言われても、ごみを分別してプラスチック製容器包装としてごみを出せば、どのように処理されてリサイクルされるのかを具体的に説明してくれなとごみの分別は進んでいかない。</p> <p>・回答</p> <p>ピンク色のごみ袋（プラスチック製容器包装）は、容器包装リサイクル協会が引き取り、プラスチック原料に再生されパレット、ハンガー等のプラスチック製品にリサイクルされています。</p>

今後は、適切なおみ分別によってプラスチック製品容器包装がリサイクルされていることについて周知してまいりたい。

・質問

ピンク色の袋で出したごみは、100%再生品化されるのか

・回答

回収したごみの中には、汚れたごみが混ざっているため、それらはリサイクルされない。

・質問

容器包装リサイクル協会に引き取ってもらうには際には、お金をもらっているのか、払っているのか。

・回答

処理費用に関しては、容器包装のメーカーが99%を負担し、残りの1%を自治体負担するルールになっている。組合としては1%の費用を払っているが、処理費用のわずか1%の負担で処理してもらっている。

・質問

春に足羽川の河川清掃を毎年行っているが、ビン・缶・金属等のいろんなごみが出る。ボランティアにて分別をしているが、限度がある。汚れたビン・カンや割れたプラごみがほとんどであるが、まとめて出しても引き取ってもらえるのか。

・回答

汚れたビン・カン等は、リサイクルできません。

河川清掃としてでたごみであれば、汚れたごみをまとめて出していただければ引き取ります。

4 報告事項 プラスチック資源循環促進法について

5 その他 ごみの出し方によるごみ量推移について

4 閉会